

大阪産業大学経済論集

喜多見 洋 教授 退職記念

2022年3月

大阪産業大学学会



喜多見 洋教授近影

喜多見 洋教授略歴・研究業績等

略 歴

- 1953年 神奈川県横浜市に生まれる
- 1972年3月 神奈川県立光陵高等学校卒業
- 1976年3月 早稲田大学商学部卒業
- 1979年3月 早稲田大学大学院経済学研究科博士前期課程修了 経済学修士
- 1986年3月 早稲田大学大学院経済学研究科博士後期課程 単位取得満期退学
- 1987年3月 早稲田大学大学院経済学研究科博士後期課程研究生修了
- 1987年4月 神戸山手女子短期大学教養学科専任講師
- 1993年4月 神戸山手女子短期大学教養学科助教授
- 1994年3月 神戸山手女子短期大学退職
- 1994年4月 大阪産業大学経済学部経済学科助教授
- 1998年8月 スイス ジュネーヴ大学で客員助教授として在外研究に従事（1999年8月まで）
- 2002年4月 大阪産業大学経済学部経済学科教授
- 2002年4月 大阪産業大学経済学部経済学科主任（2007年9月まで）
- 2007年9月 一橋大学社会科学古典資料センターに国内留学（2008年3月まで）
- 2008年4月 大阪産業大学総合図書館長（2010年9月まで）
- 2010年9月 大阪産業大学副学長（2012年1月まで）
- 2014年4月 大阪産業大学学会常任委員長（2016年3月まで）
- 2016年4月 大阪産業大学経済学部国際経済学科教授（国際経済学科に所属変更）
- 2021年4月 大阪産業大学学会常任委員長（2022年3月まで）
- 2022年3月 定年により大阪産業大学を退職

この間、大阪産業大学経済学部、一橋大学経済研究所において非常勤講師、および早稲田大学政治経済学部において副手を兼任

経済学史学会幹事（2009. 4-2011. 3, 2017. 4-2019. 3）、監事（2007. 4-2009. 3, 2011. 4-2013. 3, 2015. 4-2017. 3）、関西部会幹事（1996. 4-1998. 3）

日仏経済学会副会長（2018. 4- ），理事（2009. 4-2018. 3）

研究業績

著 書

- (1) 時永淑編『古典派経済学研究 (IV)』(第7章「『実践経済学全講義』の再評価」を執筆) 雄松堂出版, 1987年7月
- (2) 永井義雄編著『経済学史概説—危機と矛盾のなかの経済学』(2-2「フランス経済学におけるスミスの受容と展開」を執筆) ミネルヴァ書房, 1992年7月
- (3) 安藤隆穂編著『フランス革命と公共性』(第2章「公共性とフランス経済学II」を執筆) 名古屋大学出版会, 2003年2月
- (4) Jean-Pierre Potier et André Tiran (éds), *Jean-Baptiste Say: nouveaux regard sur son œuvre* (“Jean-Baptiste Say et Etienne Dumont” を執筆), *Economica*, 2003.
- (5) 鈴木信雄編著『経済思想④ 経済学の古典的世界1』(第6章「ジャン＝バティスト・セー—習俗の科学から実践経済学へ—」を執筆) 日本経済評論社, 2005年5月
- (6) 斉藤日出治編著『グローバル化するアジア』(第8章「アジアの多文化社会とグローバリゼーション—参考事例としてのスイス—」を執筆) 晃洋書房, 2007年6月
- (7) 永井義雄, 柳田芳伸編『マルサス人口論の国際的展開—19世紀近代国家への波及』(第6章「マルサス人口論のフランス語世界への波及」を執筆) 昭和堂, 2010年12月
- (8) 喜多見洋, 水田健編著『経済学史』(序章「経済学史と現代」, 第3章「古典派経済学とフランス」, 終章を執筆) ミネルヴァ書房, 2012年2月
- (9) 『アジアの社会, 経済, 文化についての学際的研究』産研叢書36 (第2章「ミャンマーにおける社会経済の発展と日本語教育」を執筆) 大阪産業大学産業研究所, 2013年3月
- (10) 田中秀夫編『野蛮と啓蒙—経済思想史からの接近』(第14章「ルソー焚書事件とプロテスタント銀行家—焚書と啓蒙」を執筆) 京都大学学術出版会, 2014年3月
- (11) Ryuzo Kuroki and Yusuke Ando (eds), *The Foundations of Political Economy and Social Reform*, (10 “Pierre Prévost’s political economy and cotemporary intellectual networks” を執筆), *Routledge*, 2018.

論 文

- (1) 「スミス資本蓄積論の展開—『グラスゴウ大学講義』から『国富論』へ—」早稲田大学大学院『経済学研究年報』第21号, 1982年3月
- (2) 「J.-B. Say 経済学における資本の蓄積」早稲田大学大学院『経済学研究年報』第23号,

1984年3月

- (3) 「J.-B. Say の生産論」早稲田大学大学院『経済学研究年報』第24号, 1985年3月
- (4) 「G. ガルニエによるスミス経済学のフランスへの導入」『大阪産業大学論集 社会科学編』第98号, 1995年3月
- (5) 「晩年の G. ガルニエと『国富論』」『大阪産業大学論集 社会科学編』第110号, 1998年10月
- (6) 「J.-B. セーと功利主義」『大阪産業大学経済論集』第2巻第1号, 2000年10月
- (7) 「スイスに見る多元的国家社会の形成」『大阪産業大学経済論集』第2巻第2号, 2001年2月
- (8) 「ジャン＝バティスト・セーとジュネーヴ」『一橋大学社会科学古典資料センター年報』第21号, 2001年3月
- (9) 「Les Rapports Intellectuels entre Jean-Baptiste Say et Etienne Dumont」『大阪産業大学論集 社会科学編』第115号, 2001年3月
- (10) 「J.-B. セーの経済学体系と教育」『大阪産業大学経済論集』第4巻第3号, 2003年6月
- (11) 「転換期ジュネーヴの知識人たち—スイスの視点から見た西欧社会経済思想史の一齣—」『大阪産業大学経済論集』第6巻第3号, 2005年6月
- (12) 「ピエール・プレヴォの経済思想」『一橋大学社会科学古典資料センター *Study Series*』第71号, 2015年3月
- (13) 「初期 Say の経済思想—啓蒙, フランス革命との関連で—」『関西大学経済論集 小池渺先生退職記念号』第67巻第3号, 2017年12月

資 料

- (1) 「デュモン・コレクション」『大阪産業大学論集 社会科学編』第113号, 1999年6月
- (2) 「Quatre lettres de Jean-Baptiste Say adressées à Etienne Dumont」『大阪産業大学経済論集』第1巻第2号, 2000年2月
- (3) 「Trois lettres inédites de Jean-Baptiste Say à Pierre Prévost」『日仏経済学会 Bulletin』第21号, 2000年3月
- (4) 「Les lettres inédites de Jean-Baptiste Say adressées à Etienne Dumont, datées des années 1820」『大阪産業大学経済論集』第1巻第3号, 2000年6月
- (5) 「Lettre de M^{me} Du Voisin, née Say, adressée à Georges-Louis Le Sage」『一橋大学社会科学古典資料センター年報』第21号, 2001年3月
- (6) 「Les notes de J.-B. Say sur l'édition originale de *Definitions in Political Economy*

de T.R. Malthus」(水田健と共著)『一橋大学社会科学古典資料センター年報』, 第22号, 2002年3月

その他

- (1) 「日本の経済学におけるフランス像」『日仏経済学会 Bulletin』第20号, 1998年11月
- (2) 「温経知世 vol.28 経済学者の思想と理論 ジャン＝バティスト・セー」『週刊 エコノミスト』2012年4月17日号
- (3) 「イポリット・コントの蔵書印をめぐって」『神奈川大学史紀要』第3号, 2018年3月
- (4) 「渡部先生にフランス語を習う」『現代経済社会の諸問題—渡部茂先生古稀記念論集』学文社, 2018年3月

辞典

- (1) 西川潤編著『エコノミストを知る事典』(執筆項目「スミス」, 「リカード」, 「マルサス」, 「セイ」) 日本実業出版社, 1996年9月
- (2) 経済学史学会編『経済思想史辞典』(執筆項目「デステュット・ド・トラシ」, 「レッセフェール」) 丸善, 2000年6月
- (3) 的場昭弘, 石塚正英編『新マルクス学事典』(執筆項目「J.-B. セー」) 弘文堂, 2000年5月
- (4) マルサス学会編『マルサス人口論事典』(執筆項目「ピエール・サミュエル・デュボン・ド・ヌムール」, 「ピエール・プレヴォ」, 「『人口論』受容史: フランス」) 昭和堂, 2016年4月

書評

- (1) 「リチャード・カンティロン著, 津田内匠訳『商業試論』」『大阪産業大学論集 社会科学編』第92号, 1993年5月
- (2) 「Palmer, R.R. (ed.), *Jean-Baptiste Say. An Economist in Troubled Times*」『経済学史学会年報』第36号, 1998年10月
- (3) 「Evelyn L. Forget, *The Social Economics of Jean-Baptiste Say: Markets and virtue*」『経済学史学会年報』第38号, 2000年5月
- (4) 「ポール・ギシヨネ著, 内田日出海・尾崎麻弥子訳『フランス・スイス国境の政治経済史—越境, 中立, フリー・ゾーン—』」『日仏経済学会 Bulletin』第24号, 2006年7月

- (5) 「米田昇平『欲求と秩序—18世紀フランス経済学の展開—』『日仏経済学会 Bulletin』第25号, 2008年3月
- (6) 「安藤隆穂『フランス自由主義の成立—公共圏の思想史—』『社会思想史研究』第32号, 2008年9月

翻訳

ギ・ソルマン『新《自由の時代》』（内田日出海, 塚原康博と共訳, 第2章, 第4章を担当）春秋社, 1986年10月 (Sorman, Guy, *La Solution libérale*, Fayard, 1984)

研究発表

- (1) 「セーの経済学における『実用経済学全講義』位置と意義」経済学史学会第49回全国大会, 1985年11月
- (2) 「G. ガルニエの経済思想」経済学史学会関西西部会第129回例会, 1995年12月
- (3) 「エティエンヌ・デュモンと彼のマニュスクリプト」経済学史学会第63回全国大会, 1999年11月
- (4) “Jean-Baptiste Say et Etienne Dumont” (仏語), Colloque International Jean-Baptiste SAY (Centre Auguste et Léon Walras de l’université Lumière Lyon-2), 2000年10月
- (5) 「近代権力と公共圏—スイス・ロマンズの視点—」(セッション「啓蒙と公共圏」第一報告) 社会思想史学会第30回大会, 2005年11月
- (6) 「ピエール・プレヴォと *Bibliothèque britannique*—転換期ジュネーヴに見る知のインターフェイス—」(セッション「啓蒙と経済学—経済学の形成時代の地域的諸相」第三報告) 経済学史学会第72回全国大会, 2008年5月
- (7) 「フランス語圏におけるマルサス人口論の普及過程」(セッション「マルサス主義の国際的普及」第一報告) 経済学史学会第73回全国大会, 2009年5月
- (8) 「転換期ジュネーヴにおけるピエール・プレヴォの社会経済思想」日仏経済学会2012年度全国大会, 2012年7月
- (9) “Pierre Prevost and France: Pierre Prevost’s Political Economy” (英語), International conference: *French Political Economy in the Age of Enlightenment: Perspectives on Social Reform before the Revolution* (Rikkyo University), 2012年9月
- (10) 「ルソー焚書事件と社会的ネットワーク」社会思想史学会第38回大会, 2013年10月
- (11) 「啓蒙, フランス革命と初期 Say の経済思想」経済学史学会第80回全国大会, 2016年5月

- (12) 「啓蒙の遺産：フランスの場合—J.-B. セーを通して見た啓蒙の遺産—」(セッション「啓蒙の遺産—寛容・穏健・包括性」第二報告) 社会思想史学会第42回大会, 2017年11月

研究助成

- (1) 科学研究費 奨励研究 (A) 1989 研究代表者：喜多見洋「英仏経済学の交流に関する研究—D. リカードゥと J.-B. セーを中心として」
- (2) 公益財団法人清明会 研究助成 1993 助成対象者：喜多見洋「フランスにおける古典派経済学の受容」
- (3) 科学研究費 基盤研究 (C) 2003-2006 研究代表者：喜多見洋「スイスの視点から見た西欧経済学の展開についての経済思想史的研究」
- (4) 科学研究費 基盤研究 (A) 2007-2009 研究代表者：田中秀夫「啓蒙思想と経済学形成の関連を問う—グローバルな視点から」
- (5) 科学研究費 基盤研究 (A) 2011-2013 研究代表者：田中秀夫「野蛮と啓蒙—経済思想史からの接近」
- (6) 科学研究費 基盤研究 (C) 2014-2017 研究代表者：喜多見洋「ピエール・プレヴォの経済学と啓蒙期ヨーロッパの知的ネットワーク」

献 辞

喜多見洋先生は、1994年4月に大阪産業大学に採用され、経済学部経済学科助教授として経済学史、外国書購読を担当された。1998年8月からの1年間にはスイスジュネーブ大学で客員助教授として研鑽に励まれ、その後経済学史に加えて社会思想史も講義されるようになった。2016年4月には経済学科から国際経済学科へ移られ、経済学部全体の学説史、思想史分野の研究教育を長く導いてこられた。

研究面では、経済学史学会、日仏経済学会に所属され、ジャン＝バティスト・セーなどを中心に18世紀後半から19世紀の英仏の経済思想に関する論考を多数発表された。学会の発展にも尽力され、経済学史学会では幹事、監事などを、日仏経済学会では副会長と理事を歴任された。そのような学説史研究を進める一方で、経済学部が設置したアジア共同体研究センターの活動にも加わるなど、多面的な業績を残されている。

教育面では、担当されていた講義科目は言うに及ばず、ゼミでも丁寧に学生を指導してこられた。学生一人一人の研究テーマに沿ってテキストを準備されている姿が印象に残っている。先生が学生に向き合っていたのは授業においてだけではない。全学的にはプロジェクト共育の活動の一つである現「OSUエルダープロジェクト」を2012年度に創設、指導され、学生に自信と愛校心を持たせてオープンキャンパスや高大接続入学前教育プログラムで不可欠の存在に育てた。経済学部においては現公務員コースの前身である公務員プログラムを担当され、学生の学習支援に力を注ぎ、多くの公務員試験合格者を輩出した。さらに、系列校との高大連携にも尽力され、附属高校との関係構築と内部進学者の確保と入学後の支援においても大きな実績を作られた。

先生の貢献は研究と教育だけにとどまらない。先生が経済学部に着任されてからの約10年間は1986年に設置された経済学部の発展期であり、1998年には大学院経済学研究科が、1999年には経済学部国際経済学科が開設され、入学定員が倍増するなど、組織改編と規模拡大がめまぐるしく続いた時代であった。このような時期にあった2002年4月、先生は経済学科教授に昇任されると同時に経済学科主任を5年半もの間務められ、経済学部および経済学科の発展を支えられた。

先生のご活躍は経済学部の運営にとどまらず全学の大学行政面にも及んだ。2007年9月から半年間の国内留学から帰任されると、2008年4月から2年半の総合図書館長職を経て、2010年9月からは副学長を約1年半務められ、大学全体の行政の中心を担われた。さらにその後、2014年4月からの2年間と2021年4月からの1年間は大阪産業大学学会常任委員長も務められ、本学の教育研究活動の支援体制の整備に寄与された。

こうしてみると、現在の我々の活動の土台にはその至るところで喜多見先生が積まれた石が見つかる。それに加えて、目立った形としては残ってはいなくとも、会議や研究室や廊下での立ち話などの様々な場所で折々にいただいたご助言に我々は多く励まされてきた。先生が残された実績は誠に大なるものと言わざるを得ない。我々経済学部教員一同は、喜多見先生に深甚なる感謝の意を表するとともに、先生の今後一層のご活躍とご健康をお祈りするものである。

大阪産業大学 経済学部
学部長 富澤拓志

目 次

<研究論文>

- 測地線・曲率テンソルと SageMath
..... 伊 藤 誠..... (1)
- テーマパークのサービス・スケープがブランドイメージ、
顧客満足度及び行動意図に及ぼす影響
..... 李 昌 訓..... (19)
高 湖 錫
- ナチズムと「自然」
—W. シェーニヒェン『第三帝国における自然保護』(1934)を読む
..... 岩 熊 典 乃..... (43)
- 負債, 主権, そして貨幣
—グレーバーとアグリエッタ=オルレアンら—
..... 山 本 泰 三..... (65)
- 満洲国と駒井徳三
—統治認識を中心に—
..... 加 藤 道 也..... (85)

<Contents>

<Articles>

- Understanding Geodesics and Curvature Tensor using SageMath
..... ITOH Makoto (1)
- The Effect of Theme Park Service Scape on Brand Image,
Customer Satisfaction and Behavioral Intention
..... LEE Changhoon (19)
KO Hoseok
- Nazism and “Nature”:
A Reading of W. Schoenichen’ s *Naturschutz im Dritten Reich* (1934)
..... IWAKUMA Fumino (43)
- Debt, Sovereignty, and Money:
A Brief Comparison of D. Graeber and Aglietta et Orléan
..... YAMAMOTO Taizo (65)
- Manchukuo and KOMAI Tokuzo:
The Perception of Colonial Rule Held by a Japanese Colonial Bureaucrat
..... KATO Michiya (85)